

2024 年度青島日本人会 総会 議 案 書

第 1 号議案 2023 年度事業活動報告の承認

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 2 号議案 2023 年度 会計報告の承認

第 3 号議案 2023 年度 会計監査報告の承認

第 4 号議案 2024 年度 理事及び監事選任

第 5 号議案 2024 年度 活動計画の承認

- (1) 全 般
- (2) 商 工 会
- (3) 生活文化会
- (4) 青島日本人学校運営理事会

第 6 号議案 2024 年度 会計予算の承認

以 上

第1号議案

(1) 2023年度活動報告（全般）

青島日本人会会長
大芦 弘一

1. はじめに

青島日本人会会員の皆様には日頃より日本人会の運営・活動に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2023年度を振り返りますと、コロナ前に普通に行っていた日本人会の活動に戻す一年にしていければと考えながらスタートしました。一年を総括してみますと、唯一諸般の事情により直前中止を余儀なくされた納涼会を除けば、商工会、生活文化会ともに所期に計画していた活動は概ね予定どおり実施できた一年であったと思います。

2. 2023年度青島日本人会活動

2023年は青島日本人学校創立20周年や日中平和友好条約締結45周年といった節目の年でもありました。それらを記念した式典や文化イベントの開催や、青島市政府商務局との共催で「青島市日系企業ビジネス環境改善に向けた円卓会議」の開催にも取り組むなど、日中両国の経済交流、文化交流もバランスよく活動できた一年となりました。



青島日本人学校創立20周年記念式典

2024年3月、在青島日本国総領事館、JETRO青島代表処、日本アジア共同体文化協力機構との共催で日中総合文化祭「ジャパンフェスティバル青島2024」を開催しました。日本ならではの魅力体験やコンテンツ紹介など、日本のプロモーションイベントを通じて、特に次世代を担う日中の青少年たち生まれる「関心と共感」を広めることができました。



ジャパンフェスティバル青島2024

またこのイベント開催中に青島日本人会主催による「日中平和友好条約締結45周年記念植樹式」を行い、開催場所の青島・日本国際ビジネスハブに30株の桜の苗木を植樹しました。この桜が日中両国の未来の世代に引き継ぐ新たな友好の架け橋となり、将来、我々が植樹した30株の桜が毎年満開の花をつけて、更に絆を深めた日中両国の平和友好関係を祝ってくれることを願いました。



日中平和友好条約締結45周年記念植樹

2023年12月、青島市政府事務局との共催で「青島市日系企業ビジネス環境改善に向けた円卓会議」を開催しました。青島市政府からは常務副市長以下商務局長や各所管単位責任者が出席、26社の日系企業から全部で34件もの陳情を直接青島市政府リーダーに伝えることができました。その後、政府側から我々の陳情一件一件に対して回答書が書簡で提出されました。問題が解決したもの、改善に向けて動き始めた



青島市政府との円卓会議

ものと様々ではありますが、今まで何年も悩んでいた問題や課題が改善解決に向けて動き出したことは我々にとっても大きな収穫であり、非常に有意義な会議を行うことができました。

改めましてこれらの活動にご参加頂きました皆様、ご支援頂きました皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

今後も青島日本人会は、会員日本人の皆さま、ご家族、日系企業の安全・快適な生活と円滑な企業活動の為にプラットフォームとなるよう努めて参ります。引き続き、積極的なご参加とご支援をお願い申し上げます。

(2) 商工会 活動報告

商工会会長
高橋 賢治

1. 活動実績報告

商工会は、会員企業の中国での事業発展と円滑化を支援するために、有益な情報の共有と交流の場を提供することを目指し活動をしています。主軸活動であるセミナーは年度5回を計画、会員のアンケートを通じてセミナー内容の要望を収集し、関心の高いセミナーを予定通り開催致しました。日本国在青島総領事館やJETRO青島代表処のご支援とご協力により、共催という形で非常に有意義なセミナーを開催することもできました。商工会は、次年度も会員企業が中国での安全かつ安心な企業運営と事業の発展をさらに促進するために取り組んでまいります。

2. セミナー開催実績

	日付	講師	演題	共催	人数
1	6/30 (金)	瑛得管理諮詢（上海）有限公司 （インターリスク上海） 董事 総経理 飯田剛史 様	パンデミック、地政学リスクを踏まえたBCPの構築について	JETRO 青島代表処	42
2	8/25 (金)	大地（青島）法律事務所 代表弁護士 熊琳 様	国家安全法関連法律に関する勉強会 ～国家安全法・最新反スパイ法の要点と実務上の関心事項～		59
3	9/14 (木)	北京立動法律事務所 代表弁護士 税理士 章啓龍 様	営業秘密の漏えい防止に関する基本事項と実務対応	JETRO 青島代表処	45
4	11/10 (金)	森・濱田松本法律事務所 弁護士 パートナー 森 規光 井村 俊介 様	日中比較でみる中国労務関係の留意点と最新動向	日本国総領事館	60
5	1/19 (金)	北京立動法律事務所 代表弁護士 税理士 章啓龍 様	最近の法務関連ホットトピックスと日系企業から寄せられる相談内容の事例紹介	JETRO 青島代表処	40

《食品部会》

部会長 安藤孝雄

1. 2023 年度活動報告概要

2023 年度は、中国国内での新型コロナウイルスが収束に向かい、コロナ以前に実施していた工場見学、セミナーなど本来の活動を行うことができました。

7 月に一泊二日にて、製粉工場及び温室野菜栽培場の見学会。11 月にはセミナーを開催致しました。

ご参加いただいた会員の皆さまに、この場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

2. 活動実績

「食品関連施設見学会」

概 要 : 小麦栽培～製粉～二次加工等一連のプロセス見学。及び、最新テクノロジーを使った温室野菜栽培場の見学。

参加者の皆さんとの親睦会。

開催日時 : 7 月 21～22 日

参加者 : 13 名

見学先 : 濱州中裕食品有限公司
寿光蔬菜高科技示範園

「食品部会セミナー」

概 要 : 中国における食品/小売流通、及び日本食レストラン等の動向に関するセミナー

開催日時 : 11 月 10 日

参加者 : 40 名

場所 : クラウンプラザホテル

3. 2024 年度の活動方針

昨年度は、新型コロナウイルスが収束に向かい、実績の通り、コロナ以前の活動を再開することができ、部会員同士の交流も制限なく行うことができました。

今年度は昨年度の活動を継続し、人的交流を含む活動を積極的に行って参りたいと考えております。特に、部会員企業の共通課題である中国国内への事業拡大を念頭に、地元企業との関係強化を目的とした商談会、展示会等のイベントに積極的に参加したいと考えております。

また、今年度は大連商工会食品部会等、近隣の食品部会との相互会社訪問、情報交換

会等を開催し、同じ中国国内で事業展開する日系企業様との情報の共有化、部会員同士のビジネスの活性化につなげて参ります。

情報発信については、引続き、在青島日本国総領事館、JETRO 青島代表処等と緊密に連携し、部会員の皆様に有用な情報を提供致します。

今年度は、こうした方針のもと、食品部会としての活動を推進していく所存ですので、引続きよろしくお願い致します。

《繊維部会》

部会長 山部 秀紀

1. 部会開催状況

2023 年度は結果的にセミナーや工場見学、懇親会等の活動は実施出来ず終いでした。

2. 活動内容

特にありません。

3. 2024 年度の活動について

繊維業界は厳しい状況が続いておりますが、2024 年度は会員企業の皆様と情報共有の場として活気ある活動を行っていきたいと思います。

活動内容としては、第1回目は5~6月に新年度に変わり会員メンバーの交代もあり、各会員の自己紹介を中心とした懇親会を開催したいと考えております。

2 回目の活動は工場見学などを秋口に計画しております。

3 回目は繊維に関連するセミナーとして、脱炭素や SDGs など環境に関連した内容のセミナーを開催したいと考えております。

《機械・電機・化学部会》

部会長 西原 典男

1. 総括

2023 年度は、約 3 年間のコロナウイルスの影響が解消した事により活動を再開に向け、4 月 25 日に部会懇親会を開催しました。第 2 回目として生産現場力強化の共通課題の一つである「安全・防災・環境」をテーマとした弊社の設立施設であります「技能安全体感センター」での講習会を 10 月に予定していましたが、弊社のイベントと重なり実施する事が困難な状況となってしまいました。

2. 2024 年度の活動について

昨年実施出来なかった「安全・防災・環境」をテーマとした講習会と工場見学の実施。また 2028 年をピークに生産労働人口の減少による、働く人の減少と高齢化対策、年々増加となる人件費高騰による収支への影響や労働者確保、情報漏洩、環境対応問題など業種が異なりますが各社が抱えている共通課題に対する取り組みについて情報共有を目的としたグループディスカッションを行いたいと考えています。各企業様の所在地が広域である事による交通移動手段の確保、各社様の生産負荷ピークや決算時期が異なるなど、我々の部会は開催が難しい状況ではありますが早い時期に実施していく考えでおります。

《流通サービス部会》

部会長 岡本 将紀

1. 総括及び 2023 年度活動

流通サービス部会は運輸物流、倉庫、小売、各種サービス（医療、通信、人材派遣等）、金融など多岐にわたる業種の会員企業様が集まっており、現在約 100 社（140 名）様にご加盟頂いております。多種多様な会員企業様の「よろず報告」（企業紹介）を基調として様々な会員企業様の運営実態と問題に触れる、また、それらに対する皆様からの参考意見の提示、アドバイスなどを交換すると言った内容で活動しております。コロナを経た人事異動で、人の往来も活発化したことを受け、6 月に懇親会を実施しました。懇親会には 25 名様にご参加頂き盛会となりました。

2. 2024 年度活動について

2024 年度は、会員企業様のお役に立つような情報提供や懇親の場を設定し、当部会としてより会員企業様の事業活動のお役にたてるような活動をして参りたいと考えております。具体的には、懇親会・施設見学会等年 2～3 回程度の活動を予定しており、第 1 回は 6 月頃に新規に赴任された方々にもご参加頂きやすい形での懇親会を開催したいと考えております。

(3) 生活文化会 活動報告

生活文化会会長 荒木 信太郎

1. はじめに

生活文化会は青島日本人会という日系コミュニティの融和と繁栄を目的に、会員各位の青島での充実した潤いのある生活の実現を図るため、在青島日本国総領事館、青島日本人会所属の各部会、青島日本人学校等と連携して、各種の親睦活動、生活文化関連の取り組みを行っております。

生活文化会には、「婦人会」、「六つの同好会（2024年4月1日現在）」が帰属し、それぞれが青島において活発な活動・運営を継続しており、これらの活動・運営への支援を行っております。

他方、地域図書館「ちんたお文庫」の活性化と運営全般、生活情報配信「月刊青島」の運営・編集にも密接に携わりながら協力・支援を続けています。

また、日本人会の皆さまの安全を確保し、快適な青島での生活を送っていただくため、在青島日本国総領事館と連携し、安全関連情報の収集、配信にも努めています。

2. 主な行事活動

2023年度はアフターコロナの一年として、ここ数年中止を余儀無くされていた催し物いくつかを、会員の皆様の温かいご支援・ご協力を賜りながら開催することが出来ました。以下にて詳細をご報告致します。

①青島日本人会運動会

6月17日（土）に青島日本人学校体育館で開催し、170名弱の方々にご参加頂きました。赤・白・青の3組によるチーム対抗戦で、ビーチボールバレー、障害物競争、大縄跳び、玉入れ等、各競技で多くの熱戦が繰り広げられました。未就学児童による20m競争は大変微笑ましく、最終種目の綱引きでは各チーム一丸での死力を振り絞った大熱戦となり、大変な盛り上がりとなりました。2年ぶりの開催でしたが、円滑な進行をサポート頂きました青島日本人学校及びPTA、同好会の皆様には厚く御礼申し上げます。

②納涼会

8月26日（土）に予定しておりましたが、開催前夜に会場使用が困難との連絡が入り、中止とさせて頂きました。直前の中止連絡により、ご参加を予定されていた皆様、協賛企業様並びに開催準備にご尽力頂きました皆様には大変ご迷惑をお掛けしました。

④クリスマス会

12月16日(土)にシャングリラホテルで開催し、260名弱の方々にご参加頂きました。青島日本人学校の児童による迫力ある和太鼓演奏で開幕し、ダンスタイムでは「可愛くてごめん!!」で会場一体での盛り上がりを見せ、クライマックスの抽選会では会員企業様からご提供頂きました豪華賞品の当選番号が発表される度に、大人も子供も笑顔と歓声の溢れる大変楽しい時間となりました。今回76社の会員企業様、個人様から沢山のご協賛を頂き、参加者全員に素敵な品物をお渡しすることができました。また、多くの会員の皆様、青島日本人学校、同好会の皆様には事前準備や当日の運営にご協力を賜りました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

3. 総括

2023年度はコロナ禍で中止を余儀無くされていた催し物をいくつか再開し、生活文化会としても再始動が出来た1年になったと考えております。生活文化会の活動に際し、ご参加頂いた皆様、運営をサポート頂いた皆様、協賛や景品をご提供頂いた会員企業様に対し、あらためて深く御礼を申し上げます。

2024年度は前年度断念した納涼会開催も含め、より充実した生活文化会の活動を目指して参ります。引き続きご理解並びにご協力、ご支援、またご参加を頂戴したく、宜しくお願い申し上げます。

また、上記以外に生活文化会としましては、情報誌である「月刊青島」を発刊するとともに、青島日本人学校内で図書の出借を行っている「ちんたお文庫」を運営しております。充実した文庫数、蔵書環境が整っておりますので、是非ご利用ください。

更に婦人会の活動、ゴルフ・テニス・ソフトボール・卓球・サッカーの体育会系同好会と写真同好会の活動の支援も行っており、それらの活動報告を以下に載せましたので、ご一読いただければ幸いです。

《ちんたお文庫活動報告》

役員 宜保・西村

文庫蔵書総数	5905 冊(およそ)
新規会員年間総数	19 人
年間利用者延べ数	693 人
寄贈本年間冊数	602 冊(登録済みの本のみ)

<役員活動内容>

- ・情報誌における施設利用案内掲載についての連絡・調整(月1回)
- ・『ちんたお文庫便り』の掲載(2016年4月より季刊発信)
内容:おすすめ児童書、新着登録本の紹介、利用案内等

<今年度活動報告>

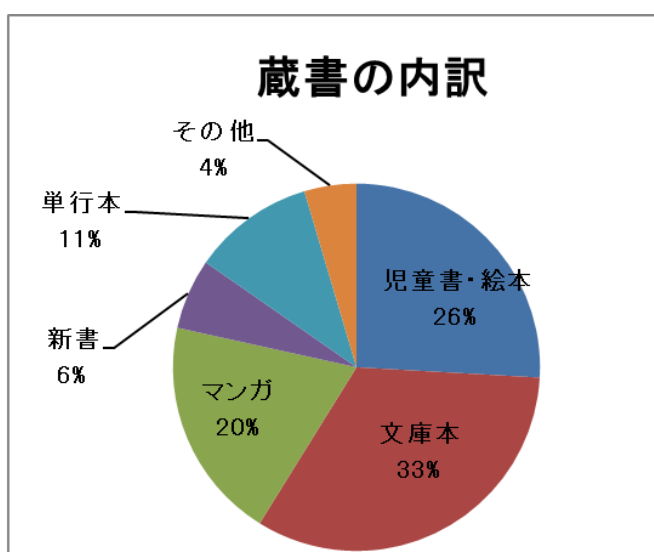
- ・土曜、日曜の開館(アルバイトによる運営)
- ・日本人会事務局での絵本出張貸し出し
- ・ボランティアによる図書整備活動(2023.6.20、2023.11.29)

<総括>

昨年度2月からようやく開館となり、今年度は1年を通して開館することができました。新規会員も徐々に増え、利用者も増加しました。ボランティア募集には多くの参加を頂き、6月20日と11月29日のボランティア活動では、寄贈本の登録や図書の整備を行うことができました。

小さいお子さんのいるご家庭が利用しやすい様、日本人会事務局の一画に置かせていただいた「絵本貸し出し出張所」は一定の利用者がおり、要望もあることから継続していくこととなりました。

蔵書の内訳につきましては次のとおりです。(2024年3月時点)

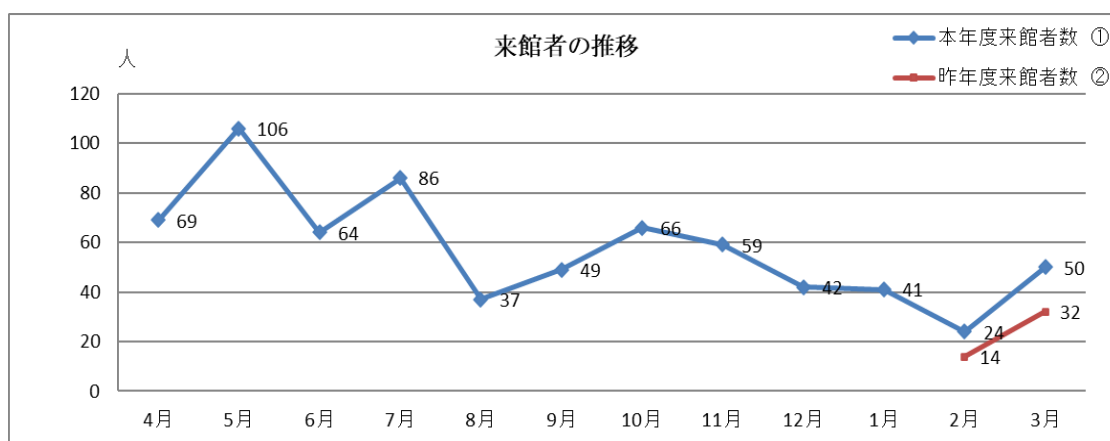


＜次年度への課題＞

今後の課題としては、ちんたお文庫をさらに多くの方に知っていただくこと、また、利用しやすくすることなどです。ちんたお文庫をご存じない方もいらっしゃいますし、日本人学校の校内にあるため、学校関係者以外の方からは「ちんたお文庫があることを知らなかった」「どうやって入ったらよいか分からない」「休日の学校には入りづらい」という声があるようです。ちんたお文庫の存在のほか、アクセスや入館方法を周知していくことでご利用を促進したいと思います。また、ボランティアメンバーの増員は、幅広い方への周知や来館者を増やすことにもつながりますので、より多くの方々にご協力いただけるようお声がけしていきたいと思ひます。

そして、会員の皆様から寄贈いただいた書籍の登録を引き続き役員とボランティアで進めていき、ちんたお文庫の書籍の充実、環境整備に努めていきたいと思ひます。

ちんたお文庫では、絵本や児童書はもちろん、ビジネス関連の書籍や新書、文庫本など幅広いジャンルの本を寄贈していただいております。今後も青島在住の皆様へ気持ちよく利用していただける図書館になるよう努めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



■ 2023 年度 ちんたお文庫 来館者の月別推移

《情報誌「月刊青島」》

編集担当 事務局

青島日本人会生活文化会では、WEB情報誌の「月刊青島」を発信しています。

「青島をもっと知って、もっと楽しく！」をモットーに、「あなたとつくる・つながるWEB情報」として、毎月15日を目処に発信しています。

「月刊青島」では総会、運動会、納涼祭、クリスマス等の日本人会の活動についての報告、総領事館・ジェトロ・青島日本人学校からのお知らせ、「公認同好会だよ

り」、「グリーン放弾」、「ちんたお文庫だより」、「婦人会通信」及び会員の動向等の情報を掲載しています。また「ふるさと自慢」といった連載もあります。とはいえ、最近ではネット上で日本語の読み物に接する機会は以前とは較べものにならないくらい増えているため、「月刊青島」を読んでもらっている会員はかなり減っているように感じております。

「月刊青島」が日本人会会員に興味を持っていただけるにはどうすればいいか、ぜひ皆様のご意見をお聞きしたく思います。また、旅行記、読書の感想等、皆様の投稿もお待ちしております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

《婦人会》

代表 占部 葉子

1. 2023 年度の報告

2023 年度はコロナに対する規制もなくなり、いくつかの活動を行うことができました。まず 5 月には、台湾料理の「華沁」で自己紹介を兼ねたランチ会を開催しました。形式は前年に続き自由な食事会にしました。

同じ 5 月に、当時煙台にお住まいだったヴィーガン料理の女性シェフを招き、料理教室を行いました。講師からは料理の作り方だけでなく、いろいろな食材についてのお話を聞き、大変有意義でした。

10 月には例年恒例のバスツアーを行い、城陽区にあるオタフクソース様の工場を参観させていただきました。こちらでは工場見学のあと美味しく焼かれたお好み焼きを食べるのも大きな楽しみです。

11 月はこれもやや恒例になりつつあるシャングリラホテルでのアフタヌーンティーの会を開きました。

12 月のクリスマスは、今年は海辺の「独崖珈琲」で行いました。いつもより少し遠目のところでしたが、新しいお店を知ることができました。

2023 年度は、小さいながらもいくつかの活動ができたことはよかったかと思えます。

2. 2024 年度の抱負として

2023 年度もお世話係の方が大活躍してくださいました。2024 年度も若いみなさんで気軽に楽しく婦人会を盛り上げてくださったらと思います。活動はいくつかありますが、強制参加ではなく、関心のあるものにだけご参加いただければ結構ですので、まだ会員になったことのない方も、まずは非会員でお試しの参加をしていただければと思います。

《ゴルフ同好会》

会長 酒井 康雄

活動状況報告

1. 2023年度は前年のコロナの規制が無くなり予定通り5回のコンペを開催することができました。

- ① 3月25日第142回 臨海温泉 GC 参加者 25人
- ② 5月27日第143回 華山旧コース 参加者 31人
- ③ 7月15日第143回 臨海温泉 GC 参加者 24人
- ④ 9月16日第143回 天泰 GC 参加者 29人
- ⑤ 12月2日第141回 華山新コース 参加者 30人

12月は総領事杯ということで齊藤総領事に参加頂き異風堂で納会を行いました。

2. 2024年度の活動について

今年度も引き続き「敷居の高くない、誰もが楽しめるコンペ」を開催していく予定です。

ゴルフ同好会は「上手な方ばかり」「ルールやマナーが今一つ解らない」等で参加を躊躇されている方は是非ご連絡ください。

青島でのゴルフライフが少しでも充実したものになるよう、皆様の御協力のもとで運営していきます。

(ア)	03月25日(土)	臨海温泉 GC 済
(イ)	05月18日(土)	華山新コース 参加者募集中
(ウ)	07月13日(土)	未定
(エ)	09月21日(土)	未定
(オ)	11月30日(土)	未定

連絡先：酒井 携帯 136-8763-5597

メール sakaiyasuo1234@yahoo.co.jp

(カ)

《テニス同好会》

会長 伊藤 裕介

1. 同好会概要

- 目的 : テニスを通じて、日本人相互の親睦と心身の健康促進を図る
- 会員数 : 43名(男性26名/女性17名)【2024年3月末時点】

(大人 29 名／高校生以下 14 名)

- 会費 : 1,020 元/半期 (高校生以下は 510 元) ~ 収支状況により変動~
活動場所 : 銀都花園テニスコート／東海中路 28 号
活動日 : 毎週日曜日
活動時間 : 8:30~10:30 スクール形式での練習中心(子供・初心者メイン)
10:30~12:30 対人形式での練習や試合中心(初中級者以上)
12:30~ 昼食会 (自由参加)

2. 年間活動実績

- 定期活動 : 毎週日曜日の定期練習
(有志で水曜日夜、土曜日午前・午後にも練習会を開催)
イベント : 10 月 ハロウィンテニス&紅白戦
12 月 クリスマス会
対外試合 : 10 月 第 46 回上海テニスクラブ対抗戦
3 月 第 47 回上海テニスクラブ対抗戦
交流試合 : 7 月 日中韓交流戦 (在上海日本・中国・韓国チームとの対抗戦)
7 月 日中交流戦 (中国チームとの対抗戦)
8 月 日中交流戦 (中国チームとの対抗戦)
9 月 日中交流戦 (中国チームとの対抗戦)
12 月 日中交流戦 (中国チームとの対抗戦)
1 月 日中韓交流戦 (中国・韓国チームとの対抗戦)
2 月 日中交流戦 (中国 3 チームとの対抗戦)

* 帰国・異動される方の送別会や懇親会も適宜開催

【2023 年度収支】

- 前年度繰越金 : 51,444 元
今年度収入 : 78,180 元
今年度支出 : 96,866 元
次年度繰越金 : 32,758 元

3. 総括

2023 年度は、コロナの影響を受けず毎週日曜日の定期活動に加え、有志練習会、各種イベント、対外試合、交流試合と言った様々な活動を行うことが出来ました。コロナ明けで帰国・異動される方も多かったです。新たなメンバーも多数迎え活発にテニス活動を続けています。

スクール形式の練習に参加している子供達には小学校低学年～中学生までいますが、

最初はラケットにボールを当てることもままならなかった小学校低学年の子供達が、1年後には同年代で試合を楽しんでいる姿も見受けられ、全員がテニス活動を通じて心身共に成長していることを実感しています。

大人の参加者についても、初心者が初中級～中級と駆け上がり中国・韓国チームとの対抗戦で活躍しており、それに負けじと上級者は上海で開催されるクラブ対抗戦でより上位を目指すべく日々練習に励んでおり、各レベルでテニスを楽しみつつ懇親を深められるアットホームな雰囲気となっています。

中国チームや韓国チーム、在上海の日本チームとの交流試合を多数行いましたが、テニスのみならず試合後の懇親会を通じ国際・他地域交流を深めると共に、青島チームの実力底上げや結束の向上にもつながっていると感じています。上海クラブ対抗戦では6大会連続で決勝トーナメントに進出しており、今はベスト8が目標です。

テニス同好会は、初心者から上級者、老若男女問わずテニスを楽しんで頂くと共に、活動を通じ参加メンバーの親睦と健康促進を目的にしています。2024年度も、ハロウィンテニスや紅白戦、クリスマス会等の懇親会、対外試合、交流試合と言った活動のより一層の充実を図り、会員一同の協力の下、運営していきたいと思っております。

《ソフトボール同好会》

会長 平井 一康

1. 同好会概要

2023年をもって創部26年目を迎えさせて頂きました歴史有る同好会です。青島日本人会の目的・規約にのっとり、「日本人相互の親睦・交流の促進」「青島生活の充実」「さらなる同好会の発展」を目的として、ソフトボールを中心に同好会活動を推進して参りました。

2023年12月末現在31名の会員が在籍し、同好会会長、事務局、運営、会計、渉外、チームキャプテン(2名)の役員を配置し、同好会を運営しています。

活動場所：青島市 中山公園サッカーグラウンド

活動時間：毎週日曜日 午前8時～10時

年会費：1800元/(前期900元・後期900元)

2. 年間活動

2023年度は1月に開催される新年会で1年間のリーグ戦における所属チームの発表が行われました。昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開幕戦が延期となりましたが3月に無事開幕戦を実施することができ、両チームシーズンを通して熱戦を繰り広げ、前後期共に最終戦まで纏れ込む白熱したシーズンとなりました。また対外試合となる青島杯へ青島ドラゴンズとして参加し、予選では全勝突破、決勝戦で惜しくも敗れましたが、見事に準優勝を獲得する事が出来ました。例年おこなってい

た上海、杭州との三都交流戦に関しては、新型コロナウイルスの影響により開催できませんでしたが、杭州チームは不参加となるも三年ぶりとなる上海チームとの交流戦を実施致しました。また黄島チームとの交流戦を、2023年度は6月と10月の2度開催することができました。年間最後の活動月となる11月には年間優勝決定戦を行い、2023年年間優勝チームを決定しました。そして年度のしめくくりである納会を開催し、優勝チーム、優秀選手の表彰を同好会として行い、1年間の活動を無事に終えることができました。

3. 特別活動

毎週のソフトボール活動以外では、6月と10月に黄島チームと交流試合を行い、試合後は懇親会を開催して親睦を図り、7月の青島杯大会への出場、上海チームとの交流試合を致しました。ソフトボール以外では、ゴルフコンペやバドミントン、会員の家に集まったのホームパーティー（自称炭水化物祭り他）を開催しました。

1月 新年会

3月 開幕

4～9月 練習・リーグ戦／黄島チーム交流戦／青島杯出場／上海チーム交流戦／ゴルフコンペ／ホームパーティ

10月 黄島チーム交流戦

11月 優勝決定戦

12月 同好会納会・忘年会

2023年度は帰任・異動に伴い会員は昨年度対比では1名減少しました。当同好会の活動におきましては、同好会会員の努力もさることながら青島日本人会、各企業様のご支援のおかげと感謝致します。2023年も大変有難うございました。2024年度も笑顔の絶えない明るく楽しい魅力的な同好会活動を推進して参ります。

《写真同好会》

会長 赤澤 陽平

1. 同好会概要

写真同好会では毎月一回撮影課題（テーマ）を決めて撮影した写真を持ちよって鑑賞評価を行い、入賞作品は青島日本人会HP「月刊青島」及びフリー雑誌「こみゆにけーしょん青島」に掲載されます。

2. 活動報告

写真撮影にご興味のある方（携帯写真を含む）のご参加をお待ちしております。

月	月例会テーマ		
4月	花	緑	自由
5月	水	夜	自由
6月	蒼	新	自由
7月	建物	乗り物	自由
8月	陽	動	自由
9月	光	色	自由
10月	実り	朝焼け夕焼け	自由
11月	空	生活	自由
12月	街並み	Move	自由
1月	赤	白黒	自由
2月	生き物	雲	自由
3月	空	ガラス	自由

《卓球同好会》

代表 占部 葉子

1. 同好会活動目的

- ①卓球を通じて、広く青島に住む日本人の親睦を深め、その身体面・精神面における健やかな生活に寄与する。
- ②卓球を通じて中国人及び青島に在住するその他の国の卓球愛好者との交流を進める。

2. 日常の活動

定例練習日：

毎週土曜日 15：30-17：30 練習場所はクラウンプラザ地下2階 良友乒乓俱樂部

会費の徴収：

会費としては、場所代として当日参加者から、1人あたり30-40元を徴収。定額の年会費といったものは徴収しない。定例練習以外に、有志による自由練習及びコーチについての練習もあり。これも参加者がそのつど場所代又はコーチ代を負担する

3. 2023年度の活動状況

以前に行っていた平日夜の練習は、結局できないまま週末1回だけの練習となっています。当会は上海や蘇州のクラブとは異なり、学校での部活経験のない方が多く参加

してくださっています。そのこともあって、外部との試合などはあまりアレンジすることができませんが、楽しくスポーツをするという点では、引き続き役割は果たしているかと思えます。

2024年4月5-6日には、例年恒例の「全中国日本人卓球同好会合同合宿」が蘇州で開催されました。今年は連休中の開催ということもあって、全体的に参加者は少なかったようで、青島同好会からの参加者は1名だけでした。来年はより多くのメンバーが参加して、他の地域の卓球愛好者と交流を深めたいと思います。

4. 2024年度の目標

会の規約にも謳っていますように、参加される皆様の健やかな生活に寄与することが同好会の最大の目的です。よって、上手な人も、そうでない人もみんな楽しく練習とプレーができればと思います。最近では参加者も以前より少なく、ちょっとさびしい同好会ではありますが、本年は外部との交流試合も組み入れて、楽しみながら上達できたらと思っております。

会員 22名（2024年3月現在）

《サッカー同好会》

会長 浜崎 健一

1. 概要

2010年より活動を始め、2022年より青島日本人会公認同好会となった、日本人サッカーチーム（青島日本人サッカー部 GGJ）です。青島や山東省近隣都市在住の日本人や日本にゆかりのある中国人メンバーを中心に構成されており、毎週1回、主に中国人チームを相手に試合を実施しております。その他、華北地区の他都市（北京市、天津市、大連市）の日本人サッカーチームとの交流戦である華北カップ、韓国人チームとの交流戦、上海の日本人サッカーチームとの交流戦なども実施しております。試合以外では、春節、国慶節などの長期休暇での遠征や、中国スーパーリーグのスタジアムでの観戦、年末のGGJアワード（表彰式）、帰任者の壮行会など、様々なイベントも実施しております。

2. 活動内容

日時：毎週日曜日午前中（8:30～12:00の間で2時間程度）

場所：工人体育场、第二体育场 等

試合：40分ハーフのフルコート

3. 2023年活動報告

2023 年になり、コロナ規制が大幅に緩和され、私たち GGJ も通常通りの活動を行うことが出来ました。今年には中国人チームとの通常の対戦以外でも、7 月の華北カップ（天津開催）、5 月&10 月の上海ストロツソさんとの HOME&AWAY での交流戦、韓国人チームとの交流戦などを実施し、対外試合としては、合計 43 試合を実施することが出来ました。戦績は 21 勝 16 敗 6 分と勝ち越すことが出来ました。

真夏の天津にて開催された第 14 回華北カップでは、3 戦 3 敗と悔しい結果とはなりましたが、チーム力の向上を感じさせる試合内容となり、来年以降の飛躍に期待が出来るそうです。春と秋 2 回参加した、韓国人チーム、朝鮮族チームと GGJ による交流戦ではトータル 4 勝 3 分け 2 敗と、アジアのライバルチームに勝ち越すことができ、満足のいく結果となりました。

毎年恒例の年末の GGJ アワード（各賞の表彰式）では、メンバーたちの投票により、MVP、新人賞など各受賞者が選出されました。新しく参加されたメンバーの躍進もあり、2024 年の GGJ のさらなる発展を予感させる投票結果となりました。

4. 総括

駐在員の宿命で、引き続きメンバーの出入りはあったものの、30 名～35 名程度のアクティブメンバーで推移しており、毎週の試合実施に向けてのメンバー集めの苦労はかなり軽減しました。一時は 20 代のメンバー不在の時期もありましたが、2023 年度は、下は 20 代から上は 50 代までと幅広い年齢層の方々にご参加頂けました。駐在地も、青島を中心に、維紡、諸城、平度など、周辺地区からの参加も増え、また上海などへ異動となった元メンバーや日本に帰任した元メンバーなどの参加もあり、非常に充実した 1 年となりました。

2024 年も、中国人チームとの試合を中心に、各大会にも積極的に参加していきたいと思えます。引き続き、怪我せず楽しくをモットーとしながらも、勝負にはこだわり、多くの勝利を積み重ねていきたいと思えます。

(4) 2023 年度青島日本人学校運営理事会 活動報告

青島日本人学校運営理事会
理事長 谷 直知

平素より青島日本人学校の運営にご理解とご協力を頂き誠に有難うございます。
2023 年度は、学校行事はほぼ全てを実施する事が出来ました。その中で体験学習や工場見学などで会員企業様からたくさんのご協力を頂きました。ありがとうございました。またコロナ明け一年目ということもあり、地域の学校との交流も盛んに行われました。ご近所の上清路小学、第六十五中学、青島大学、そして ISQ 青島、MTI 国際学校といったインターナショナルスクールとの交流もでき、生徒児童、教員にとって学びの機会が増えたことは 2023 年度の大きな特徴です。

さらに昨年度は日本人学校にとって創立二十周年の節目となる一年でもありました。11 月 11 日には記念式典および学習発表会が体育館で盛大に挙行されました。教職員、PTA の皆さまのご協力のもと二十周年記念誌と記念品が制作され、生徒児童にとっても良き思い出となる一年だったと思います。

安全面につきまして、昨年度は ALPS 処理水放出にともない学校でも投石などの嫌がらせが多少ありましたが、在青島日本国総領事館、公安当局等地元当局との連携により、生徒児童は安全に学校生活を送る事ができました。更なる安全強化の為に大使館、領事館のご協力のもと警備体制の見直しを行い、ビデオカメラの増設などを実施しました。

学校財政については、コロナ禍による生徒数減少の影響が大きく 2021 年度より赤字経営となっておりますが、日本人会から 22 年度、23 年度の二カ年で計 64 万元のご支援を頂いたほか、昨年度日本からの政府援助が校舎賃借料、安全対策費ともに 100%、計 703 万元の援助となったこともあり、おかげさまで校舎賃借料が大きく下がる 2029 年度までの資金繰りの目途が立ちつつあります。とはいえ、2024 年度入学式時点での児童・生徒数は 47 名となっており、卒業式前の在校生 55 名から 8 名の減、と予断の許さない状況は続いております。学校を挙げてさらに充実した学習環境づくり、学校の魅力度アップに取り組んでいくのはもちろんですが、青島日本人会の皆様からの引き続きのご支援を賜りたく、謹んでお願い申し上げます。

【青島日本人学校運営理事会 主な活動実績・決議事項】

■ 活動内容

- ・ 青島日本人学校運営上の重要事項の審議・決議
- ・ 各種報告（校務、財務、PTA、通学バス運営委員会、校舎管理事務室他）
- ・ 学校を取り巻く様々な課題への対応

■ 活動実績

- ・ 運営理事会開催（年 10 回 オンライン含む）
- ・ 青島日本人学校入学説明会
- ・ 入学式、卒業式、学校行事陪席 など

【学校案内】

名 称：青島日本人学校 <http://www.qingdaojs.org/>

住 所：青島市市北区同安路 56 号

学 費：入学金 15,000 元、授業料 5,000 元/月
（別途、スクールバス・PTA 会費他）

第2号議案

2023年度会計報告
(2023年4月1日～2024年3月31日)

2024年4月13日
(単位:人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	809,134	1. 事務局費	266,715
2. 2023年度会費収入	581,800	2. 商工会活動費	24,820
法人会員	577,800	全体会	24,320
個人会員	4,000	部会	500
3. 臨時会費収入	88,940	地区分科会	
・総会懇親会会費	28,840	3. 生活文化関連費	62,273
・新年会会費	60,100	婦人会	2,299
4. 銀行利子	0	ちんたお文庫	13,786
5. その他(Tシャツ販売等)	5,310	運動会	1,619
		月刊青島	12,000
		歴史保存会	0
		納涼会	14,569
		公認同好会支援	18,000
		社会奉仕	0
		4. 会議費	97,417
		総会	29,818
		新年会	67,599
		5. 日本人学校支援費	300,000
		6. ジャパンデイ等文化催事	55,138
		7. 情報整理(HP改修等)	0
		8. 次年度繰越金	678,821
【 合計 】	1,485,184	【 合計 】	1,485,184

第3号議案

監査報告

青島日本人会規約に則り、第33期(2023年4月1日～2024年3月31日)の会計検査を関係帳簿、
信憑書類に基づいて実施したところ、全て厳正に処理されていることを確認いたしました。

2024年4月13日
青島日本人会 監事

武田 栄作 

宮澤 知宏 

第4号議案

2024年度 青島日本人会 理事及び監事（案）

	氏名	所属企業名	役職
理事	荒木信太郎	日郵物流（中国）有限公司青島分公司	副総経理
理事	安藤 孝雄	青島誠誉食品検測有限公司	総経理
理事	池田 修	豊島国際（上海）有限公司 青島分公司	副総経理
理事	今西 昭彦	新日清制粉食品（青島）有限公司	総経理
理事	大芦 弘一	丸紅（青島）有限公司	総経理
理事	大塚 智	みずほ銀行（中国）有限公司 青島支店	副支店長
理事	岡本 将紀	日本興亜財産保険（中国）有限責任公司 山東分公司	総経理
理事	川田 正博	株式会社山口銀行 青島支店	支店長
理事	河辺 敏郎	青島聯合包装有限公司	総経理
理事	酒井 康雄	依摩泰（青島）商貿有限公司	総経理
理事	滝浪 晋	青島日水食品研究開発有限公司	総経理
理事	谷 直知	青島永旺東泰商業有限公司	総経理
理事	田村 高広	青島新東機械有限公司	総経理
理事	常木 尚隆	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長
理事	新関 亘	青島松下電子部品（保税區）有限公司	副総経理
理事	二宮 主税	青島扶桑精製加工有限公司	副董事長
理事	能勢 稔彦	伊藤忠（青島）有限公司	総経理
理事	野田 大輔	三菱日聯銀行（中国）青島分行	支店長
理事	古川 素一	東麗医療科技（青島）股份有限公司	総経理
理事	本多 亮	三菱商事（青島）有限公司	総経理
理事	山部 秀紀	カケンテストセンター青島試験室	室長
理事	吉川 明伸	日本貿易振興機構（JETRO）青島代表処	所 長
理事	吉田智久美	在青島日本国総領事館	首席領事
監事	武田 栄作	青島泰宝美客食品有限公司	副総経理
監事	宮澤 知宏	獅王日用化工（青島）有限公司	董事

第5号議案

(活動計画は2024年度の各候補により作成しております)

(1) 2024年度事業活動計画(全般)

青島日本人会会長
能勢 稔彦

1. はじめに

2024年度、青島日本人会会長を務めさせて頂くことになりました伊藤忠青島の能勢稔彦と申します。2017年と2019年に会長職を務めさせて頂いており、その経験も活かしながら、精一杯取組んで参る所存ですので、会員の皆様方におかれましては、倍旧のご支援を賜りますよう、切にお願い申し上げます。

コロナは収束し、生活環境はほぼ元に戻りましたが、各地で戦争は継続しており、当地中国も経済回復が遅れるなど、経営環境は決して楽観視出来る状況ではありません。更に11月にはアメリカ大統領選が控えており、結果次第では、国際的な「不確実性」が更に高まる可能性もあり、予断を許さない状況は継続していきそうです。

そういう環境下ではありますが、青島日本人会は、1990年に設立されて以降、今年で35周年となる節目の年を迎えます。今後も中国企業とともに成長・発展していくために、当会は、在青島日本国総領事館やJETRO青島代表処からご支援を頂戴しつつ、連携を図りながら、青島市政府機関との密なコミュニケーションを軸に、以下に掲げる活動計画を通じて、日本人の生活環境、企業活動環境の向上に尽力していく所存です。

2. 2024年度活動計画

- ① 青島市政府、および山東省/地方都市政府との関係強化活動
- ② 会員企業が抱える問題の市政に対する陳情
- ③ 商工会セミナー/各部会セミナー等開催
- ④ 青島日本人学校の運営
- ⑤ 在青島日本国総領事館、JETRO青島代表処との連携による情報提供
- ⑥ 各種生活文化活動の実行
- ⑦ 当地企業との交流、ネットワーキング活動
- ⑧ 省内他都市日本人会との連携
- ⑨ 社会貢献活動

我々青島日本人会は、明るく元気な日本人コミュニティを青島に根付かせ、発展させてゆくことを使命として活動しております。一方、その運営は、企業を代表する皆様

のボランティア活動によって成り立っています。風通しの良い組織運営を心掛け、理事メンバーの色々な意見を拝聴しながら、それらを活動に反映させることで、当地の会員企業様・ご家族様の経営・生活環境が少しでも良くなるように尽力していきます。会員の皆様におかれましては、日本人会の活動に対し、更なるご支援、ご協力を賜り、併せ日本人会活動への積極的なご参加をお願いしたい所存です。

(2) 商工会

商工会会長
野田 大輔

1. 2024 年度活動方針

商工会とは「青島市及びその周辺に所在する日系企業を中心に結成され、青島日本人会規約第 2 条にあるように「企業活動にかかわる有効な情報交換の機会を提供すること」を目的にして活動しています。

当会は、「機械・電気・化学部会（登録企業数 123 社）」、「流通・サービス部会（同 98 社）」、「食品部会（同 97 社）」、「繊維部会（同 84 社）」、の四部会から構成されています。

約 3 年にわたったコロナ感染拡大が収まり、現在、世界経済は回復に向けた真ただ中にありますが、ここ中国においては、需要の先行き、地政学リスクの増大、サプライチェーンの分断、エネルギー価格の上昇、不動産市況の変動などから来る不確実性の高まりが、日本企業の投資マインドを慎重にさせています。然し乍ら、領事館の資料によりますと、山東省の管轄日系企業は 1800 を超え、上海に次ぐ中国国内第 2 位の日系企業進出都市となります。また、山東省には中国を代表するグローバルメーカーが多数あります。日系企業同士の関係強化に加えて、是非とも中国系企業との関係強化にも挑戦していきたいと考えています。商工会四部会を中心に、省内各地の商工会や政府とも協働しながら、皆さまのビジネスに貢献して参ります。

2. セミナー開催

従来より、セミナーは定期開催（年間 5 回程度）を実施しており、本年度も継続開催を予定しています。在青島日本国総領事館、JETRO 青島代表処、外部講師等のお力を借りながら、規制や法律の改定、経済動向、私生活への影響などを踏まえながらテーマを検討していきます。会員企業皆さまのお困りごとを中心に、タイムリーに開催出来ることを心掛けて運営して参ります。

3. 各部会活動

「食品」「繊維」「機械・電機・化学」「流通・サービス」それぞれの部会の個別活動として、各種商談会や懇親会などを開催し、会員様との親睦・情報交換・交流の活性化

に努めます。

4. 政府関係機関、地域社会との交流

山東省商務庁、各市商務局、青島市の各政府機関および在青島日本国総領事館、JETRO青島代表処と良好な関係を維持します。また、山東省内周辺都市の日本人会商工部門とコミュニケーションを密にし、会員様の企業活動向上の一助となるべく努力いたします。

(3) 生活文化会

生活文化会会長

大塚 智

1. 2024 年度の活動方針

生活文化会は、年間行事・同好会/婦人会・情報発信等を通じ、日本人会会員の皆様の充実した生活を実現することを目的として活動しております。2024 年度も会員の皆様のご意見、ご協力を頂きながら、お互いにコミュニケーションを図ることができる機会を提供していきたいと思えます。

2024 年度は、前年度開催を断念せざるを得なかった「納涼会」を「青島日本人会縁日」と名称を改め、今年こそ開催を実現させると共に、年間行事「青島日本人会運動会」「クリスマス会」の一層の充実、同好会等の活動支援強化を通じ、生活文化会として皆様の青島での生活をより豊かで実りの有るものとする一助にしたいと考えています。会員の皆様には例年多大なるご支援、ご協力を頂き誠に有難う御座います。今年度も宜しくお願い申し上げます。

2. 主な活動内容

① 年間行事の企画実行

青島日本人会縁日（2024 年 6 月 15 日予定）

青島日本人会運動会（2024 年 6 月 29 日予定）

クリスマス会（2024 年 12 月 14 日予定）

② 各同好会・婦人会への活動支援

2024 年度同好会：ゴルフ、テニス、ソフトボール、卓球、写真、サッカー

③ 「月刊青島」を通じた青島生活情報の発信

④ ちんたお文庫運営に対する支援

⑤ 社会貢献活動の実施

(4) 青島日本人学校運営理事会

青島日本人学校運営理事会
理事長 谷 直知

青島日本人学校は2000年8月に開設された青島日本人補習授業校を端緒とし、2004年度より青島日本人学校として開校以来、青島日本人会の理事を中心とした学校運営理事会がその運営にあたり、昨年度におかげさまで創立二十周年を迎えました。

学校教育目標は「豊かな心を持ち、自ら学び鍛える、たくましい児童の育成」です。本年度の教育方針は、「21世紀を力強く生き抜く児童/生徒の育成を目指して一人一人の個性を尊重しつつ、主体性、自主性、基礎知識を重視した教育を行うこと」。また保護者や地域社会から信頼される開かれた学校づくりに努めています。

教育課程は文部科学省が示す学習指導要領に準拠し、さらに青島の地域性を活かしたカリキュラムとしています。基本的に日本と同じ教科書を使用し日本国内と同様の教育を行います。さらに現地中国の自然、歴史、伝統、文化、生活習慣に触れることを通じて、国際性豊かな児童・生徒の育成を目標としています。また、生徒児童が安心して通学・授業を受ける事が出来る様、今年も安全対策に留意してまいります。

本校の大きな特徴は少人数を生かし一人一人に合わせたきめ細かい教育ができることです。また、学年の垣根を越え全校がまるで兄弟・姉妹のようお互いを支え合う独自の文化があります。開かれた学校として、現地校との交流や企業訪問・職場体験などの機会も豊富にあり、それらを通じ日中両国の文化や習慣を理解・尊重する国際人としての基礎がつくられます。さらに英語教育とICT教育も充実しており、グローバルに活躍できる人材の育成に非常に適した環境となっています。日本人会会員企業・団体のみなさま、小中学校へ就学予定のお子様を帯同される社員・職員様に対し、ぜひ青島日本人学校をご推薦頂きたく存じます。

青島日本人学校運営理事会は学校活動を全面的に支援し、より良い学校運営に努めてまいります。新年度も日本人会会員及び、関係者の方々のご支援、ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

第 6 号議案

2024 年度予算案

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

2024 年 4 月 13 日

(単位：人民元)

収入の部		支出の部	
1. 前年度繰越金	678,821	1. 事務局費	279,640
		2. 商工会活動費	65,000
		全体会	33,000
		部会	20,000
2. 2024 年度会費収入見込	570,000	地区分科会	12,000
法人会員(270 社*2100 元)	567,000	3. 生活文化関連費	91,000
個人会員(15*200 元)	3,000	婦人会	3,000
		ちんたお文庫	15,000
3. 臨時会費(総会・クリスマス会)	100,000	運動会	2,000
		月刊青島	12,000
		納涼会	35,000
		公認同好会支援	24,000
4. 銀行利子見込	0	4. 催事費用(総会・クリスマス会)	120,000
		5. 日本人学校支援費	100,000
5. イベント寄付	0	6. 文化関連費	22,000
		7. 情報整理(HP改修等)	5,000
		8. 活動予備費	30,000
		9. 次年度繰越金	636,181
【 合計 】	1,348,821	【 合計 】	1,348,821

(付表)

2023 度青島日本人会理事・監事異動名簿

理事会		企業名		敬称略
4 月	退任	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長	中原 伸二
	新任	同	支店長	高橋 賢治
	退任	伊藤忠(青島)有限公司	部長	鈴木 雄策
	新任	同	総経理	能勢 稔彦
6 月	退任	東麗医療科技(青島)股份有限公司	総経理	端 彰一郎
	新任	同	総経理	古川 素一
	退任	上海住友商事有限公司青島分公司	経理	達下 篤
9 月	退任	三菱 UFJ 銀行有限公司 青島支店	支店長	原 義信
	新任	同	支店長	野田 大輔
12 月	退任	青島松下電子部品(保税区)有限公司	副総経理	衣川 真悟
	新任	同	副総経理	新関 亘
	退任	獅王日用化工(青島)有限公司	董事	片淵 修
	新任	同	董事	宮澤 知宏
3 月	退任	全日本空輸株式会社 青島支店	支店長	高橋 賢治
	新任	同	支店長	常木 尚隆
	退任	青島聯合包装有限公司	総経理	横田 博文
	新任	同	総経理	河辺 敏郎
	退任	青島嘉都麗時装有限公司	総経理	青木 功
	新任	豊島国際(上海)有限公司 青島分公司	副総経理	池田 修